

平成30年度 行政評価 施策カルテ

施策名	3 学んだ成果を活かす仕組みの構築
-----	-------------------

施策主管課	生涯学習課	総合計画記載頁	106ページ
-------	-------	---------	--------

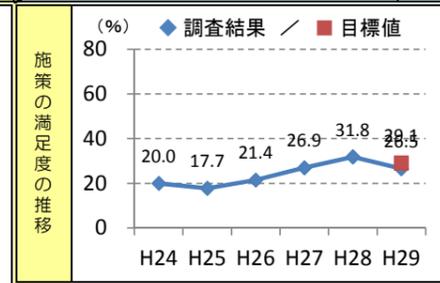
1 施策の位置付け

政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	8 生涯にわたる学習活動を促進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	子どもから大人まで、市民の誰もが自分に合った学習の機会や場を得られるとともに、意欲を持って地域のための活動に取り組んでいます。
------	------------------------	----------------	-------------------	---------------------	---

2 施策の取組状況

施策目標	より良い地域社会をつくるために、学びの成果を活動に活かしています。
------	-----------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価			
	指標1	人材バンクの登録者数	単年度目標値	370	424	527	631	684			728	B	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	20.0%	17.7%	21.4%		26.9%	31.8%	26.5%
現状値			320人	実績値	306	306	316	448	529	516	目標値(H29)				29.1%	前年度からの増減	-2.3pt	3.7pt	5.5pt	4.9pt	-5.3pt	
目標値(H29)			728人	単年度の達成度	82.7%	72.2%	60.0%	71.0%	77.3%	70.9%												
指標2	家庭教育サポーター養成講座修了者数	単年度目標値	50	65	80	95	110	125	B	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)	B											
		現状値	38人	実績値	46	65	73	85			90	90	「参考」中核市等との水準比較	全生涯学習センター及び地域コミュニティセンターの利用者数/市民1人	中核市平均	2.19	2.03	2.02	1.99	2.05	2.08	
		目標値(H29)	125人	単年度の達成度	92.0%	100.0%	91.3%	89.5%			81.8%	72.0%			実績値	2.1	2.12	1.97	2.04	2.01	1.93	
		単年度目標値																				
		現状値																				
		目標値(H29)																				



※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$

① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年5月の中央教育審議会における「個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について(答申)」では、「全員参加による課題解決社会」を実現していくため、各種課題に対応する多様な学習機会を充実し、生涯学習が個人の自発的意思に基づいて行われることを基本としつつ、学習した成果が活用と有機的につながる環境を整備することを両輪で進めることにより、「『学び』と『活動』の循環」を形成していくことが重要であるとしている。 平成30年3月の中央教育審議会における「第3期教育振興基本計画について(答申)」では、今後の社会教育には、地域コミュニティの維持・活性化への貢献や、全ての住民が地域社会の構成員として社会参加できるような社会的包摂への寄与、社会の変化に対応した学習機会の提供が期待され、その重要性はさらに高まっていくと考えられている。 	市民満足度	地域人材の育成に積極的に取組み、各種団体への支援や連携をしつつ、学んだ人が地域で活動する機会の充実を図ってきたところではあるが、市民満足度は昨年度より減少した。	総合評価	65点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> 人材バンクの登録者数については、市内の生涯学習センターによる地域への働きかけなど、市民への周知に積極的に取り組んできたことにより、登録者数は前年度とほぼ同数となった。 家庭教育サポーター養成講座修了者数については、地域において家庭教育支援を行う活動者の見直しを図るため、平成29年度の養成講座は休止したため、修了者数は同数となった。 				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業の目的	事業内容		事業の 進捗状況	H29 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	生涯学習情報提供事業	○★	学習情報提供及び学習支援の充実と、学んだ成果と活動をつなげる仕組みづくり	全市民	生涯学習情報提供システム(マナビス)による情報提供, 学習相談窓口の開設	計画どおり	1,435	H3		市民の主体的な生涯学習活動を支援するため、多様な学習情報の提供に取り組むとともに、学んだ成果を活かしたい人材を支援するため、システムの契約更新に伴う運用等の検証などを行うとともに、市民周知の強化や、引き続き、生涯学習センター職員等への人材バンクに関する実務研修等の実施、社会教育関係団体との連携強化、地域未来塾における学習支援員や家庭教育支援活動者の登録による「地域人材マッチング機能」のさらなる活用など、人材バンクの効果的な運用に取り組む。
2	宇都宮市地域婦人会連絡協議会補助金		「宇都宮市地域婦人会連絡協議会」の事業実施の支援及び連携促進	宇都宮市地域婦人会連絡協議会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	400	S36		女性を中心とした地域の教育力向上のため、社会教育関係団体の実施する事業について補助金を継続するとともに、行政と連携した取組の充実や団体活動の更なる活性化について引き続き支援する。
3	宇都宮ユネスコ協会補助金		「宇都宮ユネスコ協会」の事業実施の支援及び連携促進	宇都宮ユネスコ協会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	0	S36		会長や会員の高齢化に伴い、平成29年度より休会となっている。今後、活動を再開した際には、再度団体への支援を行っていく。
4	宇都宮市PTA連合会補助金		「宇都宮市PTA連合会」の事業実施の支援及び連携促進	宇都宮市PTA連合会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	950	S32		家庭と地域の教育力向上のため、社会教育関係団体の実施する事業について補助金を継続するとともに、意見交換会など、行政と連携した取組の充実について引き続き支援する。
5	宇都宮市子ども会連合会補助金		「宇都宮市子ども会連合会」の事業実施の支援及び連携促進	宇都宮市子ども会連合会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	1,100	S44		地域の教育力向上のため、社会教育関係団体の実施する事業について補助金を継続するとともに、指導者研修の共同開催など、行政と連携した取組の充実について引き続き支援する。
6	人財かがやき支援事業(再掲)	★	市民活動団体等の活動活性化	生涯学習にかかわる又は関心のある市民	地域教育メッセの開催	計画どおり	52	H20		地域教育メッセにおいて、市民活動団体や自主学習グループなどの出展団体や市民が活動紹介や情報交換などの交流を通して、今後の活動の活性化や機会づくりにつながる場を提供する。引き続き「うつのみや人づくりフォーラム」と一体的に開催し、より多くの市民の生涯学習支援に寄与することができるよう、事業の更なる充実を図っていく。
7	成人対象事業(再掲)	★	市民の主体的な学習活動の支援と個人の自立に向けた学習の促進	概ね18歳以上の市民	各種教養講座, 高齢者教室などの開催	計画どおり	2,823	S24		社会情勢の変容や多様な市民ニーズに対応した魅力ある講座を実施するとともに、地域資源や地域の魅力を再認識し、郷土愛や市民意識を高めるような講座の実施や、市民が企画・運営する講座の更なる推進に取り組んでいく。また、講座の実施にあたっては、実施日時の工夫や託児の充実など、市民が受講しやすい環境を整えていくとともに、ICTを活用するなど、時間や場所を問わずに学べる環境づくりに取り組んでいくことで、より幅広い市民の学習活動を促していく。
8	講座企画・運営ボランティアスタッフ(Vスタッフ)養成事業(再掲)	○★	生涯学習の推進役となる人材の養成	生涯学習講座の企画運営に関心のある市民	Vスタッフの養成	計画どおり	97	H13		市民目線による講座の企画・運営を通じた生涯学習を推進するため、引き続きVスタッフの養成を行うとともに、講座修了後も継続した育成支援に取り組むため、フォローアップ研修会・Vスタッフ交流会の開催や、生涯学習センターにおける活動機会の拡充を図るなど、Vスタッフの円滑な活動に向けた支援に取り組む。
9	家庭の教育力向上事業の推進(再掲)	○★	学校・家庭・地域・企業等と連携した家庭教育支援の充実	主に保護者, 家庭教育支援活動者及び団体, 企業等	親学出前講座の実施, うつのみや版親学と子どもの情報誌の発行, 家庭教育サポーターの養成, 市P連・企業との連携等	計画どおり	3,567	H19		人づくりにおいて重要な役割を担う家庭の教育力向上を図るため、家庭教育支援団体や企業等と連携した親学出前講座の講座の開催やうつのみや版親学と子どもの情報誌と家庭の教育手帳の発行を通じた情報提供を通して、学習機会の充実を図っていく。親学習プログラム指導者と家庭教育サポーターを統合し、新たに家庭教育支援活動者として活動を開始し、研修会や企画運営講座の開催等により、支援者としての知識や技能の向上を図る。なお、情報誌による支援者の周知、活動機会の拡充として、市内の子どもの家での親子講座支援や生涯学習センターでの子育て講座の実施等も行う。また、訪問型家庭教育支援のあり方検討として、今後の方向性についての決定に向けた庁内検討ワーキンググループ等を実施する。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	方向性
<p>◆生涯学習情報提供事業については、学んだ成果を活かしたい人材を活動する機会や場へつなげる情報発信の強化など、市民周知を強化し、事業への認知度の向上に努める必要がある。また、社会教育関係団体との連携強化による「地域人材マッチング機能」の活用など、人材バンクの効果的な運用に取り組む必要がある。</p> <p>◆家庭教育サポーターの養成については、地域においてきめ細かな家庭教育支援を進めていくにあたり、親学習プログラム指導者と統合し、新たに家庭教育支援活動者とすることから、地域における活動者の人材育成に取り組んでいく必要がある。</p>	<p>〈施策全般〉 ◆平成30年3月に策定した「第3次宇都宮市地域教育推進計画」に基づき、多様な主体と連携した学習機会の提供や、市民ニーズに応じた活動の機会と場の情報発信など、多様な主体と人々がつながるきっかけを作ることで市民の社会参画を促進し、一人ひとりが様々な場面で学んだ成果を生かして活動できる取組を推進していく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆生涯学習情報提供事業については、多様な学習情報の提供や、システムの契約更新に伴う運用等の検証などを行うとともに、市民周知の強化や生涯学習センター職員等への人材バンクに関する実務研修等の実施、社会教育関係団体との連携強化、地域未来塾における学習支援員や家庭教育支援活動者の登録による「地域人材マッチング機能」のさらなる活用を進めていく。</p> <p>◆講座企画・運営ボランティアスタッフ(Vスタッフ)養成事業については、Vスタッフの養成と合わせて、修了者へのフォローアップ研修会や生涯学習センターにおける活動機会の拡充など、円滑な活動に向けて、講座修了後も継続した育成支援に取り組んでいく。</p> <p>◆家庭の教育力向上事業の推進については、引き続き親学出前講座の実施や親学と子どもの情報誌の発行などによる学習機会の充実に取り組むとともに、新たに地域で家庭教育支援に取り組む家庭教育支援活動者の育成に向けて研修会の開催等を実施していく。また、庁内検討ワーキンググループ等を実施し、訪問型家庭教育支援のあり方について検討していく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>